

3月14日(木)

しょうかい おはなし会で紹介した本

作成：なでしこ図書館 司書 松岡みどり
2019年3月20日

3月14日(木) 2年生の図書の時間はおはなし会をおこないました。

みなさんが1年生の時に石のブックトークをしてくださった田沼恵美子さんをゲストにお迎えして、今回もたくさんの楽しい本を紹介してくれました。

◎印の本はなでしこ図書館で借りられます。ない本はおうちの近くの図書館などで探してみてくださいね。探し方がわからない、という人は松岡に相談してください。



田沼さんのおはなし

『しあわせのテントウムシ』

アルフ・プリオイセン/作 大塚勇三/訳 学習研究社

指先にとまったテントウムシに願い事をしようとする女の子のお話。いっしょけんめい願い事を考える女の子と、指先を移動していくテントウムシの様子を想像しながら聞いていくととても楽しく、最後にはうれしい気持ちになるお話です。

プリオイセン&小さな生き物たちの本

◎『小さなスプーンおばさん』アルフ・プリオイセン/作 大塚勇三/訳 学習研究社

『スプーンおばさんのぼうけん』アルフ・プリオイセン/作 大塚勇三/訳 学習研究社

◎『スプーンおばさんのゆかいな旅』アルフ・プリオイセン/作 大塚勇三/訳 学習研究社

◎『おちばのしたをのぞいてみたら…』皆越ようせい/写真と文 ポプラ社

◎『ダンゴムシみつけたよ』皆越ようせい/写真・文 ポプラ社

◎『ダンゴムシ』今森光彦/文・写真 アリス館

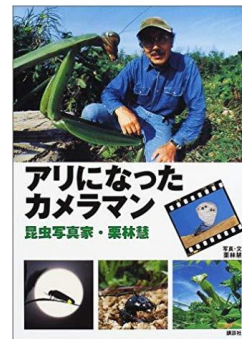
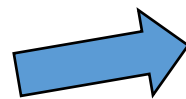
◎『土の中の小さな生き物ハンドブック』

皆越ようせい/文・写真 渡辺弘之/監修 文一総合出版

『アリからみると』桑原隆一/文 栗林慧/写真 福音館書店

『アリになったカメラマン：昆虫写真家・栗林慧』

栗林慧/写真・文 講談社



松岡のおはなし

「はやくめをだせ」(◎『ふたりはいっしょ』より
アーノルド・ローベル/作 三木卓/訳 文化出版局)

1年生の国語で学習した「おてがみ」に登場するがまくんとかえるくんのお話の一つです。かえるくんのようなすてきなおにわを作るためにがまくんはたねをまきますが、たねたちはなかなか大きくなりません。そこでがまくんがとった行動は…!



そだ ローベル&たねを育てる本

◎『ふたりはきょうも』アーノルド・ローベル/作 三木卓/訳 文化出版局

◎『ふたりはいつも』アーノルド・ローベル/作 三木卓/訳 文化出版局

◎『ふたりはともだち』アーノルド・ローベル/作 三木卓/訳 文化出版局

『リネアの小さな庭』

クリスティーナ・ビョルク/文 レーナ・アンデション/絵 山梨幹子/訳 世界文化社

『庭をつくろう!』ゲルダ・ミュラー/作 ふしみみさを/訳 あすなろ書房

◎『ソフィーのくだものばたけ』ゲルダ・ミュラー/作 ふしみみさを/訳 BL出版

◎『ソフィーのやさいばたけ』ゲルダ・ミュラー/作 ふしみみさを/訳 BL出版

◎『庭のたからもの』大野八生/著 小学館



◎『ふゆめがっしょうだん』

富成忠夫、茂木透/写真 長新太/文
福音館書店

春を待つ冬芽の写真といっしょに大合唱♪

「この本は『ふゆめがっしょうだん』だから、みんなで歌いましょう！」
絵本を読むのではなく歌うのも楽しいものですね。



おまけの切り紙の本

◎『切り紙12か月：作ってかざろう!』今森光彦/作 童心社

◎『わくわく切り紙昆虫館：ハサミでチョコキチョコキ』

今森光彦/作 童心社

